

## ■犬山市のヤングケアラーの現状と今後の支援

### 《犬山市のヤングケアラーの現状》

- 「お世話をしている」と答えた子どもの割合は、小学生低学年を除くと4%から8%程度となっている。この中には、「自分だけでお世話している」「つらい」と答えている子どもや、「お世話することで自分の時間が取れない」と答えた子どもがいることから、ヤングケアラーが一定数含まれていると思われる。
- 今回の調査結果からは、年齢が低いほど「お手伝い」と「お世話」を混同していると考えられるものの、小学生高学年から高校生までで得た回答件数(3,392件)から推測すると、最大で子どもの約5%がヤングケアラーの可能性があると考えられる。
- お世話の対象や内容は、兄弟や姉妹の食事の用意等といった家事が最も多く、祖母や祖父も含めた見守り等の割合も大きかった。
- 今回の調査では、高校生世代から自由記述による意見をいただいたが、「学校を通じ、ヤングケアラーについて認知度を上げる。」「ヤングケアラーの人が助けを求めやすい環境づくり、頼りやすい社会の仕組みづくり」「まずは、知ってもらう、興味を持ってもらうことが大切」「ヤングケアラーとして特別扱いをするのではなく、他の人と区別せず手助けできるとよい」など、様々な意見があった。  
※上記文中にある割合は、アンケート調査結果回答件数から算出したものである。

### 《今後の支援方針》

- 市では、調査結果を踏まえ、ヤングケアラーを支援するための今後の方針を以下のように定める。
  - ① 「ヤングケアラー」について正しく理解する。  
「ヤングケアラーとは・・・」まず、大人も子どもも正しく理解する必要がある。小中学校等へのパンフレット配布や、地域で子どもを見守る関係機関に対し研修等を実施することで社会全体の認知度を上げていく。
  - ② 「ヤングケアラー」を見つけて支援する。  
家族のケアで、既に介護等の福祉サービスを受けている家庭もあることが想定されることから、当事者を早期に見つけるため、サービス提供事業者からの情報も重要となる。福祉サービスを利用できていない家庭には、小中学校等や地域で子どもを見守る方々からの情報提供により、福祉サービスへつなげていく。
  - ③ 「ヤングケアラー」が相談しやすい環境を整える。  
「ヤングケアラー」は、自覚がないなどの理由から相談することが困難な状況も想定される。周りの大人が当事者に気づき、寄り添い、気軽に安心して話せる人や場所の確保をしていく。

#### 例えば・・・

身近にいる学校の先生やスクールカウンセラー  
家族のケアに関わっているヘルパー  
24時間子ども SOS ダイアル（フリーダイヤル）

## 犬山市ヤングケアラー実態調査に関するアンケート 調査結果報告書（概要版）

### ■調査の目的

本アンケートは、当市のヤングケアラーの実態把握及び今後のヤングケアラー支援のために必要な検討材料を把握するため、市内に居住する小学生から高校生（高校1～2年生相当の年齢の方）までの全ての子どもを対象に実施した。

### ■調査対象者等及び回収状況

対象	調査対象数	回答数	回答率
小学生低学年	1,610人	1,512人	93.9%
小学生高学年	1,810人	1,561人	86.2%
中学生	1,961人	1,589人	81.0%
高校生世代	1,490人	242人	16.0%
計	6,871人	4,904人	71.0%

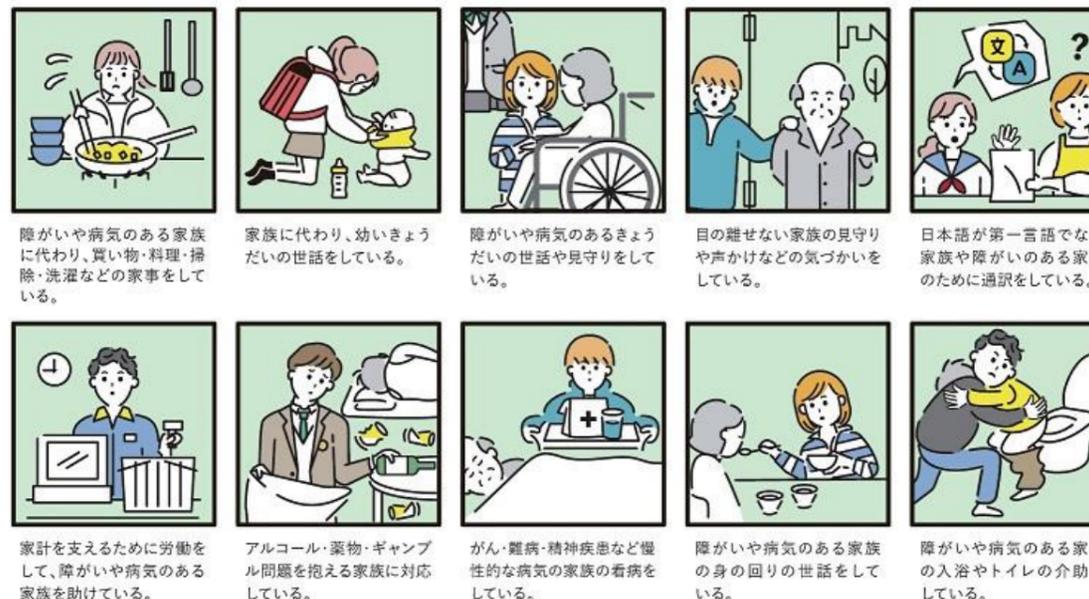
※全てのアンケートは、あいち電子申請・届出システムにより実施した。

※高校生世代は、高校1～2年生相当の年齢の方に、はがき（アンケートサイトQRコード付）によりアンケート調査を実施した。

### ■調査期間

令和5年10月2日（月）～令和5年11月30日（木）

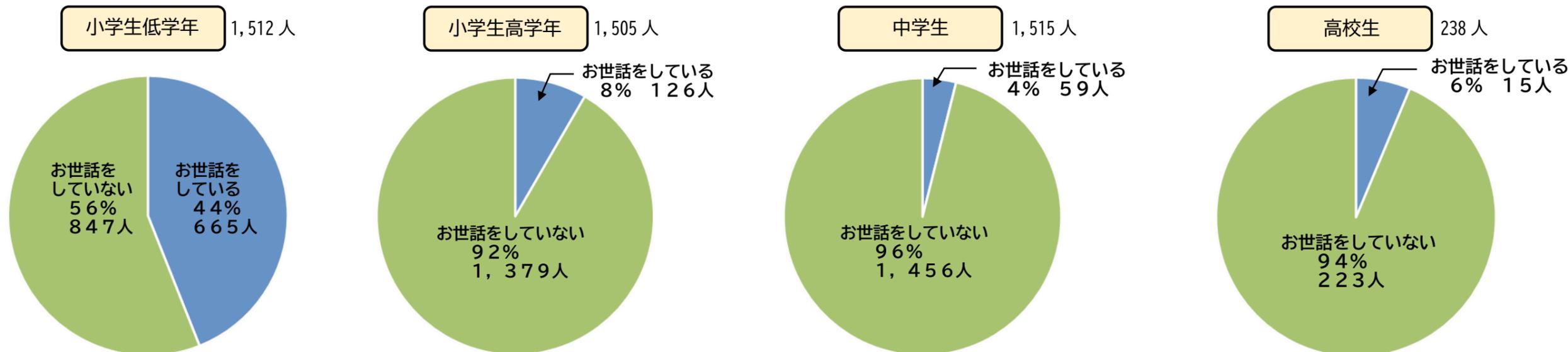
### ■ヤングケアラーのイメージ（例）



## ■犬山市におけるヤングケアラーの現状

～アンケート結果からみえるヤングケアラーの実態～

### ★家族のお世話をしているか



### ★お世話をすることで、自分ができないことがあるか

(回答数)

選 択 肢	小学生 高学年	中学生	高校生
友達と遊べないことがある	14	8	3
学習塾に行ったり、習い事をしたり、部活動をした りしたいけれどできない	6	1	1
宿題など勉強する時間がない	8	7	3
学校や仕事に行けなかったり、遅刻や早退をし たりすることがある	3	1	2
睡眠時間が足りない	21	9	3
自分が行きたい学校に通うことができない	6	1	0
その他	4	0	1
特になし	87	40	8
合 計	149	67	21

### ★周りの大人に助けてほしいことなどはあるか

(回答数)

選 択 肢	小学生 高学年	中学生	高校生
自分のことについて話を聞いてほしい	24	5	1
家族のお世話について相談にのってほしい	13	1	0
家族の病気や障がい、お世話の方法などについて わかりやすく教えてほしい	5	0	0
自分が行っているお世話を誰かにかわってほしい	8	1	3
自由に使える時間がほしい	14	3	3
自由に過ごせる場所がほしい	10	2	3
勉強を教えてほしい	8	2	2
進路の相談(行きたい学校、やりたい仕事など)に のってほしい	2	3	1
お金の面で助けてほしい	4	0	5
その他	0	1	0
特になし	95	51	6
わからない	25	11	0
合 計	208	80	24

※複数回答している場合もあるため、表中の合計数と上記円グラフの「お世話をしている」人数は必ずしも一致しない。